

広がるにぎわいの場

会員同士が交流 管内産でケーキ

三重・JA伊勢
ファンクラブ

【三重・伊勢】JA伊勢ファンクラブみらいは3月上旬、JA本店で「みらいマルシェ」を開いた。同会全体でのイベントは発足後、初めてで、会員同士の交流や情報交換が目的。会員のグループ活動の出店や、キッチンカー、ワークショップ体験ブースなど29の出店があった。イベントの周知は、

JAが管理する同会の公式LINE、日刊紙や地元ケーブルテレビなどで発信した。当日は会員や地域住民ら約750人が来場した。会場では、ひな祭りケーキ作り体験も催した。親子60組158人が、管内産イチゴ「かおり野」を使って、思い思いにケーキをデコレーションした。

JAは2022年4月、性別や年齢などの加入制限を設けず、誰もが気軽に参加・参加できるグループを発足するため、従来の女性

部を発展的に解消した。女性部の会員は997人だったが、現在の会員は3035人に増えている。JAくらしの活動推進課の担当者は「今後もイベントを開き、会員の交流の場をつくって活性化を図りたい」と話した。



来場者でにぎわうブース